



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：森 雄治 幹事：松村 耕三 発行：会報・広報委員会

第 2880 例会 (8号) 2013年8月29日 (木) 晴れ

外部卓話 SPEECH

「体罰問題から受験問題まで 教育界の問題について」

わたなべ英数塾

塾長 渡辺 稔さん



平で塾を経営しながら、教育研究に取り組んでいます。

県内や東北地方の主要高校の主要大学への合格者数を見ながら、いわき市内を考えますと、明らかに、いわき市内の高校の実績は見劣りします。その理由を考えると、入り口

に注目し、つまり、高校入学時から、いわきの子供たちの学力が低いのか、ということでもあります。結論から言えば、入学時は、東北地区で見れば、遜色はありません。むしろ、高いといえるでしょう。磐城高校の場合、高校入学時の全国版の模試で、その試験のデータは、学校平均を東北6県の主な高校を比べると、おおよそ、8位とか9位ぐらい、といわれています。

ところが、高校3年の秋口の模試は、良くて20位台前半のようです。こういう現実があります。なぜ、下がるのだろうかということ。いわき秀英高校は上がる傾向にあるのに、なぜ、磐城高校が下がるのか、ということ。

ここからは、私の私見であり、あまり、実証的なデータ・統計に基づいたものだけではないということ、ご理解頂き、話します。

ざっくりと2つに分けますが、一つは地域性です。かつても言われたことですが、磐高・磐女偏重主義といわれるようなことでもあります。このような風潮は今でもゼロではないと思います。私の主観ですが、私が塾を始めた初期のころ、既に、そのような風潮は薄まってきたと感じていましたが、最近5-10年についても、薄まってきました。いわき秀英高が大学進学に力を入れていますので、選択肢が広がっています。かつてとは濃淡が異なっていますが、それでもゼロではありません。それは保護者の口からも出ます。

もちろん、他地域、県外でも、このような傾向はあり、ゼロではありませんが、いわき市の地域性のところですが、私の主観ですが、高校に入ったら、おしまという生徒もいます。

もう一つは「学習塾」です。資料には学習塾依存症とも書きました。学習塾に頼るがあまり、ということ。一般的には高校生はあまり学習塾に通いません

ので、高校は自立的に自分で勉強し、予習することが求められますが、学習塾で手取り足取り、テクニックを伝授されてきた生徒が、高校に入ってから、自立的な勉強とのギャップに直面する事態があるのではないかと。ただ、そのような事を言えば、塾はいわき以外の地域にもありますので、むしろ、東京や関西の方が盛んですが、いわきの問題だけではないのに、いわきの高校が大学の入学実績が芳しくないのは、やはり、いわきだけの問題があるのではないかと思量します。

いわきだけの学習塾にからむ問題は何かをずっと考えてきましたが、発達段階、教育心理学などの人間科学、社会科学全般への配慮が欠如したまま、いわきの学習塾が子供たちに、伸びきったゴムになってしまいかねないテクニックを手取り足取り、御膳立てをして、やってあげているのではないかと、ということではないでしょうか。

私は塾を経営していますので、自子批判、自己反省を含めて申し上げています。教育的配慮が足りないということが、いわきの塾に濃厚なのではないかと、ということ。ここ10年ぐらい、勉強をしたり、関係する本を読んだりしました。

関連する背景については、塾がそんなに、一つの地域の大学入試の実績に影響を与えることがあるのかということ。東京大学の教育社会学の研究者が関東と関西の数万人を調査しました。学力と学習塾の関係を調べた結果、学習塾のやりようによっては、学力の到達度が変わってくるということを実証的に示されました。ひらたくいうと、ただ良かれと思って、点数を上げるためのテクニック、あるいは試験に出るだろうという問題をやることの多い地域は、もの見事に大学入試の実績は悪い傾向があります。一方、比較的、教育的なレベルが高い学習塾がある地域は、大学入試の実績も高い傾向にあります。私の主観ですが、東京あたりの塾の先生は、教育心理学的な人間発達などを勉強しています。

これに対して、いわきの塾は、先々の伸びしろを考えて指導している塾が少ないということがあるのではないのでしょうか。このような背景が大学入試の実績にあるのではないかと。いわきの中学3年生の通塾率は70%を超え、塾の影響力は大きいと考えています。わたし達、学習塾に取り組んでいることを厳しい目で見たいと思います。学習塾がどんな教え方をしているかを見てほしいと思います。

県外の大学に進学して、いわきに戻ってこなくても、地元とパイプを持ち続けます。自分の仕事を通じて、いろいろやってくれます。今回の震災・原発事故にも関心を寄せています。ぜひ、学力を持ち得た子供を育てるためにも、一定の影響力をもちうる学習塾に厳しく目線を注いでほしいと思います。

県外の大学に進学して、いわきに戻ってこなくても、地元とパイプを持ち続けます。自分の仕事を通じて、いろいろやってくれます。今回の震災・原発事故にも関心を寄せています。ぜひ、学力を持ち得た子供を育てるためにも、一定の影響力をもちうる学習塾に厳しく目線を注いでほしいと思います。

県外の大学に進学して、いわきに戻ってこなくても、地元とパイプを持ち続けます。自分の仕事を通じて、いろいろやってくれます。今回の震災・原発事故にも関心を寄せています。ぜひ、学力を持ち得た子供を育てるためにも、一定の影響力をもちうる学習塾に厳しく目線を注いでほしいと思います。



2013~2014年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を」

Engage Rotary, Change Lives

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：松村幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（山城孝一会員）〕



山城孝一会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

○渡辺稔様（わたなべ英数塾 塾長）

◆会長挨拶ならびに報告



暑い中、多数のご出席をありがとうございます。8月24日にハワイアンズに、大阪イブニングロータリークラブのメンバーが9人、奥さま2人、いわき市に住んでいる御嬢様の合わせて12人がいらっしゃいました。いわき平ロータリークラブがお招きを頂き、私と志賀会員、早川会員と3人で出席しました。例会という形で約2時間、行われ、イブニングロータリークラブの方から質問を頂き、志賀会員と早川会員がそれぞれの職業を通じて、いわきの現状を話されました。先ほど、申しあげましたイブニングロータリークラブの会員の御嬢様が、いわきの現状、震災直後の小名浜の貴重な映像、そして、当時と今の比較、今の複雑な問題も話されました。イブニングロータリークラブの方も、とても理解できたということです。皆さんに回覧しましたが、当時の写真と礼状が届いています。

◆幹事報告

- いわき平ロータリークラブ60周年記念誌が完成しました。
- いわき小名浜、いわき平中央の各ロータリークラブから9月プログラム予定表が届きました。
- 9月のロータリーレートは1ドル＝100円です。

委員会報告

◆出席委員会（馬場学副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
8月29日	51名	32名	—

◆ロータリー財団委員会（飯野光世会員（代理））

関口武司さん、薄井親一郎さん、越智正典さん、大久保健蔵さん、阿部弘行さん、山崎洋次さん。
以上6件

◆米山記念奨学会委員会（飯野光世委員長）

森雄治さん、薄井親一郎さん、阿部弘行さん、大久保健蔵さん、松崎倫久さん、山崎洋次さん、飯野光世さん。以上7件

○伊藤盛敏社会奉仕委員長が猪苗代湖水草回収ボランティア日程（10月27日）を説明。

◆スマイルボックス委員会（佐藤淳会員）

♥森雄治さん（渡辺稔様卓話よろしくお願ひいたします。暑い中ありがとうございます）♥鈴木東雄さん（渡辺先生卓話よろしく。期待しております）♥佐々木芳弘さん（渡辺稔様、卓話宜しくお願ひします）♥越智正典さん（渡辺様卓話よろしくお願ひいたします）♥佐藤淳さん（渡辺様卓話よろしくお願ひ致します）♥山崎慶一さん（朝晩めっきり涼しくなり、爛酒の晩酌が楽しみです。酒井先生、お孫さんおめでとうございます）♥酒井睦雄さん（何となく。孫が「全日本バレーコンクール」ジュニア部門で全国2位になりました）♥奈良宏一さん（60周年記念誌が完成しました。皆様のご協力に感謝申し上げます）♥新田俊彦さん（記念誌完成おめでとうございます）♥吉田仁平さん（なんとなく）
以上、10件



★本日の例会案内 9月5日(木)PM12:30～
青少年委員会担当卓話
お食事メニュー＝アメリカンスペアリブ

★次回の例会案内 9月12日(木)PM12:30～
第2回クラブ協議会(ガバナー公式訪問前)
お食事メニュー＝天重